

初年次学習支援において注力すべきところは？

清水 忠（兵庫医療大学）

テーマ

初年次教育における学習支援

ラウンドテーブルのまとめ

今回の「初年次教育の学習支援」をテーマにしたグループでは、学力の支援に注力している学校、学生の学習意欲の向上に取り組んでいる学校からの意見を出し、学習支援として、どちらを重視することが重要なのか？もしくは、両者のどう融合させたらいいのか？支援を行って行く上での問題をどう乗り越えていけばいいだろうか？などの話題について議論を行った。

議論の中で複数の参加者が共通して挙げた学習支援のポイントとして、学生の言葉の理解能力が挙げられた。教科書や資料を理解して読めていないことや他者の意見を理解して自身の意見を述べるのは困難である状況などの事例について紹介があった。資料や他者の話していることが理解できない状況の学習者は、講義の内容すら全く理解できず、学業不振に陥り支援が必要になると考えられる。このような支援対象の学生に対しては、用語で不明な点や文脈がわからない点を指摘するだけでなく、学生が本当に理解しているかを確認するために、学習した内容を学生自身に説明させるなどの方策が必要であると考えられる。また、支援体制についても、少人数の担当教員だけに任せるのではなく、学校がどのような協力体制を築けるかや教員間でのチームワークが成り立つかを見極めながら支援を行うことが必要であると考えられる。